I·O DATA

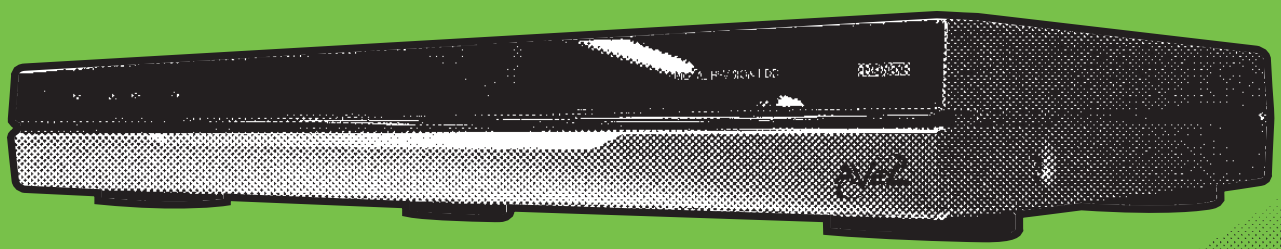
DIGITAL Hi-VISION HDD RECORDER

HVR-HD600LE

取扱説明書

操作は全てチューナー側で行います

操作は全てチューナー側で行います
本製品自体の操作で録画や再生を行うことはできません。
チューナーのリモコンなどで操作してください。
本書には一部の製品での操作手順例が記載されていますが、お使いの際にはチューナーの取扱説明書も合わせてご覧ください。



地上 DIGITAL　BS DIGITAL　110°CS DIGITAL

B-MANU200594-01

もくじ

はじめにお読みください 1

必ずお守りください 2

はじめに 7

特長 8

内容物を確かめる 9

各部の名称 10

前面 10

背面 11

使用上のご注意 12

使えるようにしよう 15

設置する 16

接続する 17

電源を入れる／切る 18

チューナーに登録する 19

例：SONY 液晶テレビ KDL-40X1000 への登録 19

使ってみよう 21

録画する 22

録画の仕組み 22

例：SONY 液晶テレビ KDL-40X1000 での予約録画 23

再生する 24

例：SONY 液晶テレビ KDL-40X1000 での再生 24

付録 27

初期状態に戻す 28

困った時には 29

仕様 31

索引 32

ご意見・ご質問はこちら 33

修理について 34

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	HVR-HD600LE
チューナー	デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵テレビ

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

危険、警告および注意事項

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

マークの説明

	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠危険

分解禁止

修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠警告

電源プラグを抜く

異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。

電源プラグを抜く

金属などの端面への接触

本製品の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使うと、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

感電注意

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。

厳守

電源コードの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- ねじらない
- 熱器具のそばで使わない
- 重ねて使わない

禁止

装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。

厳守

温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使うと、火災や感電の原因になります。使う場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。

厳守

電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。

禁止

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使うと、火災や感電の原因になります。

禁止

コンセントや配線機器の定格を超えたり、交流 100V 以外で使わない

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

接触禁止

接触禁止

雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

厳守

電源プラグのほこりは定期的にそうじする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

禁止

通気孔をふさがない

本製品にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。
物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。

水濡れ禁止

水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室では使わないでください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）

禁止

落としたり破損した場合は使わない

火災や感電の原因になります。

⚠注意

厳守

接続したままで移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。

厳守

配線について

電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。

禁止

上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

本製品に乗らない

倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。

禁止

本製品は下記のような場所で使わない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ

MEMO

はじめに

特長 8

内容物を確かめる 9

各部の名称 10

前面 10

背面 11

使用上のご注意 12

特長

本製品は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をデジタル録画する i.LINK 接続ハードディスクレコーダーです。
ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

デジタル放送をそのまま録画

i.LINKによるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されているデジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使うD-VHSビデオデッキに比べてアクセススピードが飛躍的にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK機器のため、i.LINKケーブル１本で簡単に接続することができます。

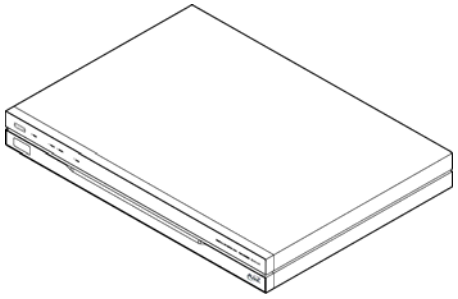
チューナー（内蔵テレビ）のリモコンによるダイレクト操作

お使いのチューナー、液晶テレビ、プラズマテレビなどのリモコンで、録画や再生などの操作ができます。

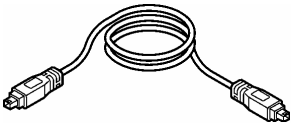
内容物を確かめる

ここでは、本製品の内容物をご案内します。

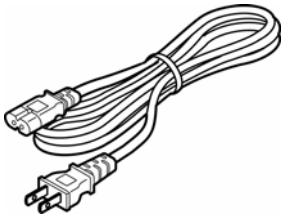
☐ **ハードディスクレコーダー（1台）** [HVR-HD600LE]



☐ **i.LINKケーブル（1本：1.2m：S400）**



☐ **電源ケーブル（1本：2m）**



☑ **HVR-HD600LE取扱説明書（1冊：本書）**

☐ **ハードウェア保証書（1枚）**

ユーザー登録をお願いします

① ユーザー登録に必要なシリアル番号(S/N)をメモします。
※ シリアル番号(S/N)は、本製品の背面に貼られているシールに記載された12桁の英数字（例：ABC1234567ZX）です。

② ユーザー登録ページで、ユーザー登録します。

http://www.iodata.jp/regist/

参考

箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

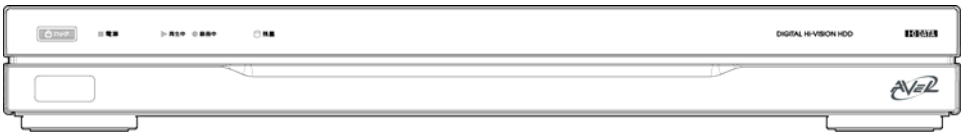
この取扱説明書のイラスト・画面について

実物と若干異なる場合があります。

各部の名称

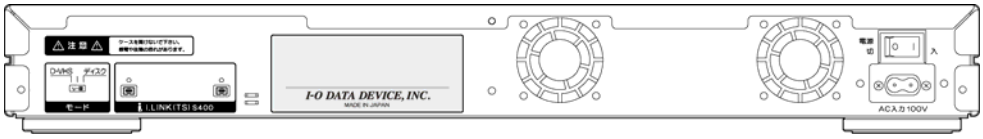
ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

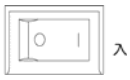
前面



名称	説明
ロックボタン(オレンジ) ロック	ロック機能の設定を行います。また、ロックの状態を表示します。 点灯： 現在再生/録画中の番組はロックされています。 ※ 「ロック」とは消去されないように保護されている状態を指します。 ※ 本製品では、ロックを行いません。 番組のロックは、チューナー側の操作で行います。 （ロック機能を搭載していないチューナーもあります。）
電源ランプ(青) 電源	消灯： 電源が入っていません。 点灯(明)： 電源状態が「ON」になっています。 点灯(暗)： 電源状態が「待機」になっています。 【電源状態について】(18ページ)
再生中ランプ(緑) 再生中	点灯： 再生中です。 点滅： 再生を一時停止しています。
録画中ランプ(赤) 録画中	点灯： 録画中です。 点滅： 録画を一時停止しています。
残量ランプ(オレンジ) 残量	点灯： 録画可能な容量が少ない状態です。（約15%以下） 点滅： 録画可能な容量がありません。

背面



名称	説明
モードスイッチ 	ディスクモード以外は使いません。 ※ ［ディスク］モードから変更しないでください。
i.LINK端子 	i.LINKケーブルで、チューナーや他のi.LINK機器と接続します。
ファン 	内部の温度上昇を防ぎます。
電源スイッチ 	本製品の電源を入れます。

ファンの通風孔をふさいだり、異物を差し込んだりしない

内部の温度が異常に上がったり、ファンが破損して、故障の原因となります。

使用上のご注意

本製品をお使いになる場合に、ご留意いただきたい事項を説明しています。

お手入れについて

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使う際は、その注意書きにしたがってください。
・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電の原因となることがあります。

大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。
・本製品を使っているときに、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消えてしまう事があります。

記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナーでご覧ください。
他のチューナーでは、再生できない場合があります。
また、本製品に記録された番組は、全てのチューナーで再生できることを保証されるものではありません。

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意ください。
・設置場所にご注意ください。 【設置する】(16ページ)
・衝撃をあたえないでください。
・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。
・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のために、録画禁止の信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使えません。

MEMO

使えるようにしよう

設置する 16

接続する 17

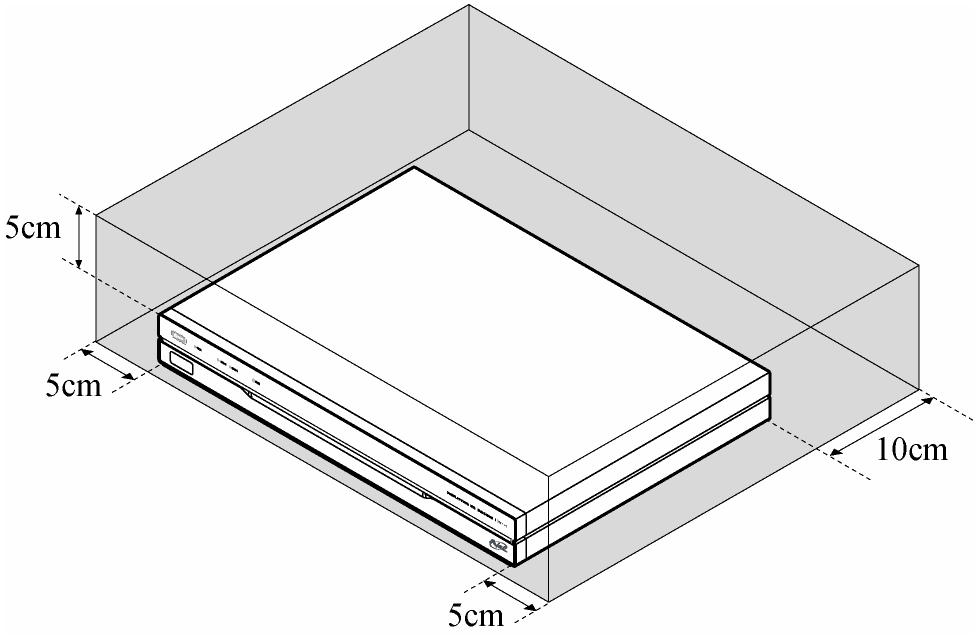
電源を入れる／切る 18

チューナーに登録する 19

設置する

次のような場所に設置してください。

- 左右 5cm，上面 5cm，背面 10cm 以上を空けて設置できる場所
- 風通しの良い場所（密閉されていない場所）
- 水平で安定した場所
- 本製品の脚の間に何も入らない場所

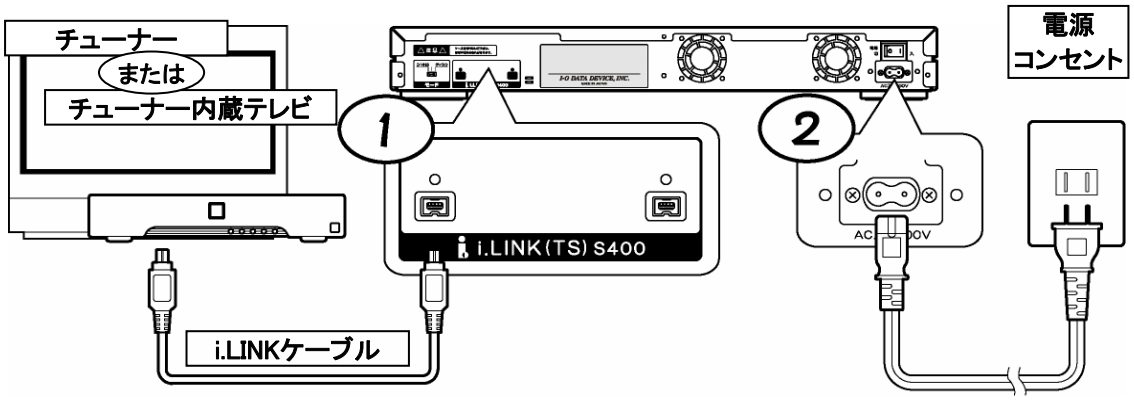


禁止

設置の際の注意

- テレビやチューナーなどの上には設置しない
- 本製品の上に、何も設置しない（本製品同士の重ね置きもしない）

接続する



1 お使いのチューナーと本製品を、添付のi.LINKケーブルで接続します。

他にi.LINK機器が接続されている場合は、その後に接続します。
また、弊社Webページの対応表をご覧ください。対応表には各チューナーでの制限情報が記載されています。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/hvr-hd600le/

参考

どちらのi.LINK端子に接続してもかまいません

i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

チューナー側で接続に注意・制限事項がある場合があります

チューナーの取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません

本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただけません。あらかじめご了承ください。

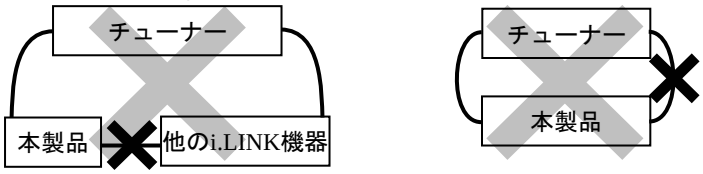
添付のi.LINKケーブルを紛失された場合

S400対応のi.LINKケーブルをご購入ください。

禁止

ループ接続をしないでください

i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。
輪にならないように接続してください。



2 本製品をコンセントに接続します。

厳守

コンセントから取り外すときは・・・

必ず、本製品の電源を切ってから行ってください。
電源の切り方については、【電源を入れる／切る】(次ページ)をご覧ください。

電源を入れる／切る

接続を終えたら、本製品の電源を入れてください。

電源を入れる／切る

電源は、背面の電源スイッチで入／切します。

電源操作	電源スイッチ	説明
入れる	入 	電源が入ります。 全てのランプが点灯し、しばらくすると電源ランプのみ点灯に切り替わります。 電源を入れてから約10秒ほどで本製品を使えるようになります。
切る	切 	チューナー側の操作で電源状態を「待機」にしてから、切ってください。 「待機」にせずに電源を切ると、録画情報が消えるなどの問題が発生するおそれがあります。 ※ チューナー側の操作については、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

録画予約をしている時は、電源を切らないでください

本製品の主電源を切ってしまうと、録画予約などで自動的に本製品を起動できません。
そのため、録画予約などの失敗の原因となります。

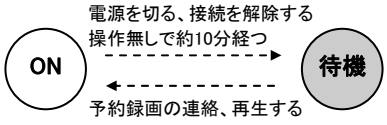
電源状態について

電源状態には、「ON」「待機」の2つがあります。

状態	電源ランプ	説明
ON	青(明)	再生、録画などをすることができます。 以下の場合、電源状態が「待機」になります。 ・約 10 分ほど操作がなかった ・チューナー側の操作で本製品の電源を切ったり、接続を解除した
待機	青(暗)	チューナーから予約録画の連絡が来ると、電源状態が「ON」になります。

電源状態の変化

チューナーからの操作で変化します。



チューナーに登録する

本製品を使うには、「i.LINK 機器」としてチューナーに登録する必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。

参考

本製品は、下のように登録されます
本製品はハードディスクレコーダーとして動作します。

正しく本製品が登録されない
全てのi.LINK機器の登録を削除してください。

この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います
本製品側の操作はありません。

例:SONY 液晶テレビ KDL-40X1000への登録

参考

ここで紹介している方法はSONY KDL-40X1000での手順例です
必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。
他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

1 本製品をKDL-40X1000に接続し、電源を入れます。

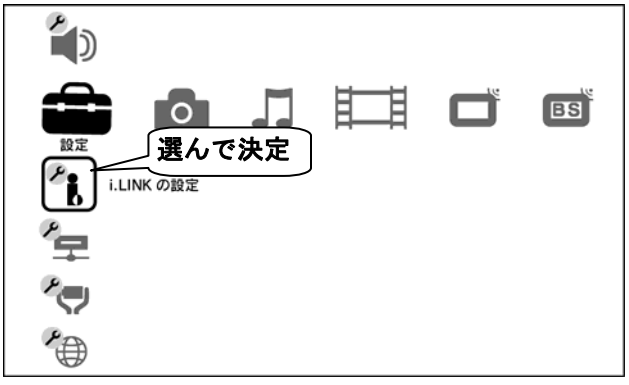
【接続する】(17ページ)、【電源を入れる／切る】(18ページ)をご覧ください。

2 [ホーム]ボタンを押します。

⇒メニューが表示されます。

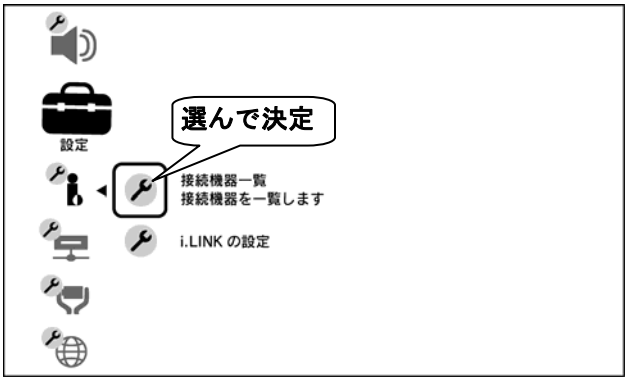
3 [設定]の[i.LINKの設定]を選びます。

⇒カーソルボタンで[i.LINKの設定]を選び、[決定]ボタンを押します。



4 [接続機器一覧]を選びます。

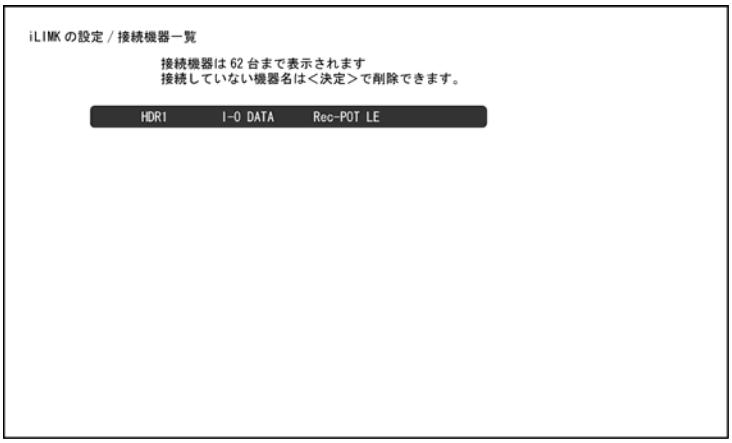
⇒カーソルボタンで[接続機器一覧]を選び、[決定]ボタンを押します。



5 本製品を確認します。

⇒以下のように表示されていることを確認します。

「HDRx I-O DATA Rec-POT LE」



6 以上で登録は終了です。

使ってみよう

録画する 22

録画の仕組み 22

例：SONY 液晶テレビ KDL-40X1000 での予約録画 23

再生する 24

例：SONY 液晶テレビ KDL-40X1000 での再生 24

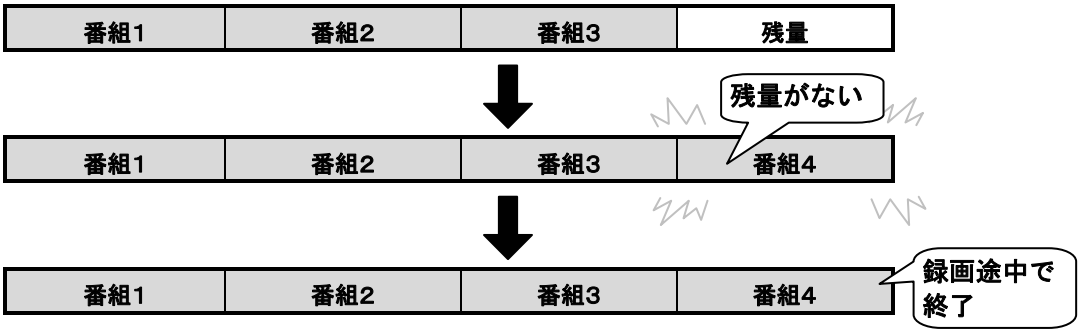
録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

録画の仕組み

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、録画できなくなります。



厳守

2分以上録画してください

1分未満では正しく録画できないことがあります。

参考

ディスク残量が少ない場合

チューナー側の操作で不要な番組を削除してください。

録画できる時間の目安

録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

録画可能時間は、

地上デジタル放送(HDレート)　約62時間

BSデジタル放送(HDレート)　約50時間

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大325までとなります。

ただしチューナーの仕様により、最大番組録画数は異なる場合があります。

（例）・SONY社製チューナー　最大200番組

・東芝社製チューナー　最大300番組

（2006年5月　当社調べ）

※ 録画できる時間・番組数は、お使いの状況により変化することがあります。

例:SONY 液晶テレビ KDL-40X1000での予約録画

参考

ここで紹介している方法はSONY KDL-40X1000での手順例です
必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。
他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

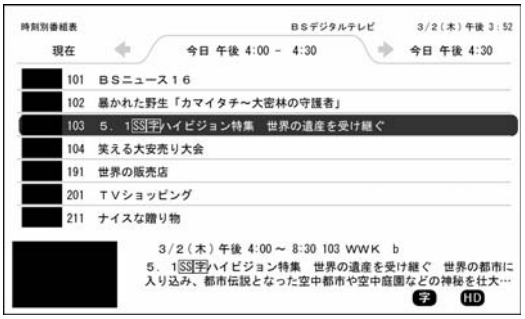
この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います
本製品側の操作はありません。

1 [番組表]ボタンを押します。

⇒番組表が表示されます。

2 録画する番組を選びます。

⇒カーソルキーを使って番組を選んだら[決定]ボタンを押します。

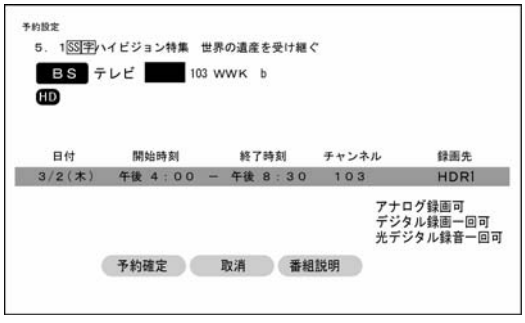


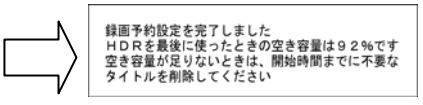
3 録画先を確認します。

⇒録画先が本製品の機器名になっていることを確認します。

4 [予約確定]を選びます。

⇒[録画予約設定を完了しました]と表示されれば、予約は完了です。





再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作で行います。

各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の再生を行ってください。

例:SONY 液晶テレビ KDL-40X1000での再生

参考

ここで紹介している方法はSONY KDL-40X1000での手順例です

必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

他のチューナーをお使いの方も、操作の流れを参考にしてください。

この手順の操作は、全てチューナーのリモコンで行います

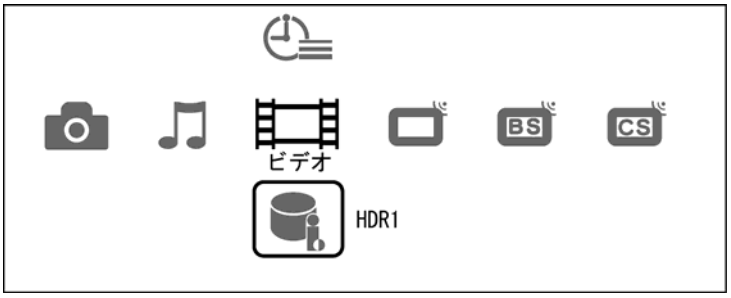
本製品側の操作はありません。

1 [ホーム]ボタンを押します。

⇒メニューが表示されます。

2 [ビデオ]の[HDRx]を選びます。

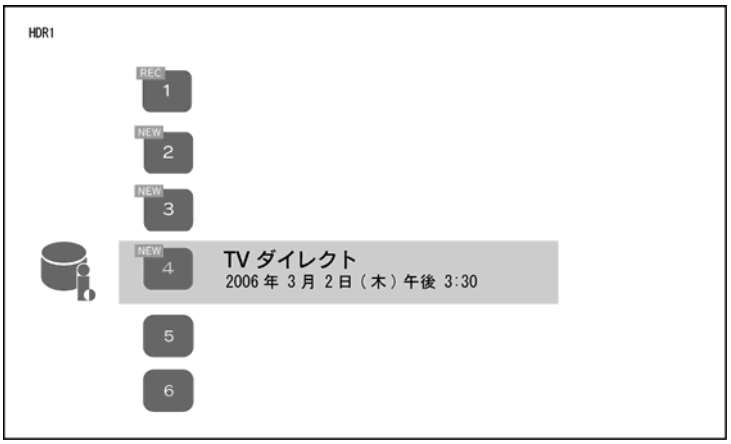
⇒番組リストが表示されます。



3 再生したい番組を選びます。

⇒選んだ番組が再生されます。

再生時の操作についてはテレビ・チューナーの取り扱い説明書をご覧ください。



MEMO

付録

初期状態に戻す.....28

困った時には.....29

仕様.....31

初期状態に戻す

本製品を初期状態に戻します。
初期状態に戻すと、記録されている全ての番組が削除されます。

参考

保護されている番組も削除されます
全ての番組を削除してよいかどうかご確認ください。

1 本製品の電源を切ります。

【電源を入れる／切る】(18ページ)をご覧ください。

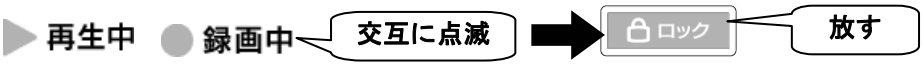
参考

次の手順で押す[ロック]ボタンは指示があるまで放さないでください
しばらく押し続ける必要があります。

2 [ロック]ボタンを押したまま、本製品の電源を入れます。

3 再生中ランプと録画中ランプが交互に点滅したら、[ロック]ボタンを放します。

約25秒ほどで、再生中ランプと録画中ランプが交互に点滅を開始します。



4 もう一度、[ロック]ボタンを押します。

⇒ 全ての番組の削除が開始されます。
削除中は、［ロック］ボタンが点灯します。
しばらくして［ロック］ボタンが消灯したら、削除は完了です。

参考

[ロック]ボタンは、再生中ランプと録画中ランプの点滅後、10秒以内に押してください
10秒以内に［ロック］ボタンを押さなかった場合、点滅は終了し、通常の動作に戻ります。
全ての番組を削除したい場合は、もう一度最初からやり直してください。

困った時には

本製品をお使いになり、問題が発生した場合にご覧ください。

電源が入らない

●電源コードは電源コンセントに接続されていますか？

電源コードを電源コンセントに接続してください。

操作できない

●電源ランプは点灯していますか？

電源コードを電源コンセントに接続してから、本製品が完全に起動するまで約10秒かかります。

本製品に手を触れると熱い

●本製品はハードディスクの放熱のため、上面、側面および背面は温度が高くなります。

品質、性能には問題ありません。
本製品を風通しの良い場所に設置してください。
また、本製品の上に物を置いたり、他の機器の上に本製品を置いたりしないでください。

録画/予約録画ができない

●i.LINKケーブルは正しく接続されていますか？

添付のi.LINKケーブルで本製品とチューナーを接続してください。

●コピーガードされた番組を録画しようとしていませんか？

コピーガードされた番組は録画できません。チューナーのメールをご覧ください。

●チューナーに本製品を登録・認識していますか？

【チューナーに登録する】(19ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
また、チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。
チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。

●チューナーは正しく設定されていますか？

対応表をご覧になり、チューナーの設定が必要ないかをご確認ください。

弊社Webページ対応表　http://www.iodata.jp/hvr-hd600le/

番組を削除できない

●削除したい番組は保護されていませんか？

保護された番組は削除できません。チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の保護を解除してください。

番組を移動（ムーブ）できない

●本製品は、番組の移動（ムーブ）に対応しておりません。

ご了承ください。

録画した番組のタイトルが正しく表示されない

●一部のSONY社製チューナーでは、最初に録画した番組のタイトルが正しく表示されないことがあります。

あらかじめ１タイトルを録画してから、本製品をお使いください。

仕様

型式	HVR-HD600LE
HDD容量	600G バイト
インターフェイス	i.LINK(2 系統)　4 ピン S400 DTCP 対応
対応ストリーム	MPEG2-TS
ストリーム処理能力	HD ストリーム対応(28.3Mbps)
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	23W
外形寸法	430(W) × 265(D) × 50(H) mm ［脚部、突起物は含まず］
質量	約 3.8kg
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）

索引

Ａ－Ｚ

i.LINK
　～端子 11

あ行

移動 30
お知らせランプ 10

さ行

再生
　番組を～する 24
　～中ランプ 10
状態ランプ 10
初期状態に戻す 28
接続する 17
設置する 16

た行

待機状態 18
チューナー
　～に登録する 19
ディスク残量 10
電源
　～スイッチ 11
　～ランプ 10
　～を入れる 18
　～状態 18

は行

番組
　～を再生する . . . . . 「再生」
　～を録画する . . . . . 「録画」

ま行

ムーブ 30
モード
　～スイッチ 11

や行

ユーザー登録 9

ら行

録画
　～中ランプ 10
　番組を～する 22
　～の仕組み 22

ご意見・ご質問はこちら

本製品に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターで受け付けています。

電話

■ 電話番号　金沢(本社)　076-260-3646
　　東京　03-3254-1036

■ 受付時間　9:30 ～ 19:00(土・日曜／祝祭日は除く)

FAX

■ FAX番号　金沢(本社)　076-260-3360
　　東京　03-3254-9055

インターネット

インターネットをご覧いただける場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

■ ホームページ　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項

1. お使いのチューナー名。
2. 他にお使いになっているi.LINK機器。
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態。
　（画面の表示やメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HVR-HD600LE 取扱説明書
2006.06.20 B-MANU200594-01
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2006 I-O DATA DEVICE,INC. All Rights Reserved.